

## 議題2 平成31～35年度 生物調査計画

2019年度から5ヶ年にわたる生き物調査は、山田緑地の指標生物となる生き物の保全、保護を目的に、管理計画（順応管理）に反映させる目的で行い、現在管理計画を取りまとめているが、年度ごとの調査結果を基に管理計画の見直しを図る。調査方法は、2つの方法を考えている。

### 「案1：全体概略調査」

毎年度、各生物相について、同様の概略的な調査を実施する。

調査項目：植物調査、哺乳類調査、鳥類調査、両性類・爬虫類調査、魚類調査、  
陸上昆虫類調査

※ 樹木のコードラードは、変移が5年では確認できないので調査は行わない。

調査範囲：野草広場、森の池～とんぼ池（アゲハの谷）周辺へのメインルート周辺。魚類調査はとんぼ池で実施。（ドングリ峠、イノシシ峠等の林道エリアは除く）

成果品：確認種リスト、調査概要コメント、確認種（生物）写真、など。

#### (1) 植物調査

調査回数：年4回（春・初夏・秋・冬）

調査日数：各2日（調査員2名）

調査方法：調査ルート周辺でのフロラ調査を実施。

#### (2) 哺乳類調査

調査回数：年4回（春・初夏・秋・冬）

調査日数：各2日（調査員1名）

調査方法：調査ルート周辺でのフィールドサイン法、目撃法、無人撮影法を実施。

無人撮影は3地点×1晩を予定。

※夜間調査は無し。

#### (3) 鳥類調査

調査回数：年4回（春・初夏・秋・冬）

調査日数：各1日（調査員1名）

調査方法：調査ルート周辺でのラインセンサス法、任意踏査を実施。

※夜間調査は無し。

(4) 両性類・爬虫類調査

調査回数：年3回（春・初夏・秋）

調査日数：各2日（調査員1名）

調査方法：調査ルート周辺での目撃法、捕獲法を実施。

(5) 魚類調査

調査回数：年1回（春～秋の期間中）

調査日数：各1日（調査員1名）

調査方法：とんぼ池で投網、サデ網、刺し網、かご罟、セルビン等による採集を実施。

(6) 陸上昆虫類調査

調査回数：年3回（春・初夏・秋）

調査日数：各2日（調査員1名）

調査方法：調査ルート周辺での任意採集法、目撃法を実施。

※夜間調査及びトラップ調査は無し。

※ 調査員は専門の調査員とする。また調査項目によっては、ボランティアなどの補助調査員が参加する。（人数は計上しない）

哺乳類・鳥類・魚類・陸上昆虫類調査員

社団法人 まほろば自然学校 代表 岩隈志保

太宰府ワイルドライフリサーチ 代表 岩松慎一郎

両生類・爬虫類調査員

一般財団法人 日本蛇族学術研究所 非常勤講師 橋元浩一

植物調査員

YGN会員 山田ボランティアグループ（前回の調査員）

## 「案2：年度別重点項目調査」

年度ごとに、重点的に調査する項目を設定し、その他の項目については概略的な調査を実施する。なお過年度調査結果より、年度による生息種の大きな変化が無いと推定される魚類調査については、重点調査のみ実施し、概略調査は実施しない。今回は、2年度で完結する調査内容としている。（重点的調査を1年1項目とする案もある）

### 1) 1年度目

調査項目：【重点調査】哺乳類調査、鳥類調査、両生類・爬虫類調査、  
【概略調査】植物調査, 陸上昆虫類調査

調査範囲：森の池～とんぼ池（アゲハの谷）周辺へのメインルート周辺。  
可能な限りドングリ峠、イノシシ峠等の林道エリアでも実施。

成果品：確認種リスト、調査概要コメント、確認種（生物）写真、など。

#### 【重点調査】

##### (1) 【重点調査】哺乳類調査

調査回数：年4回（春・初夏・秋・冬）

調査日数：各2.5日（調査員1名）

調査方法：調査ルート周辺でのフィールドサイン法、目撃法、無人撮影法を実施。  
無人撮影は3地点×2晩を予定。

##### (3) 【重点調査】鳥類調査

調査回数：年4回（春・初夏・秋・冬）

調査日数：各1.5日（調査員1名）

調査方法：調査ルート周辺でのラインセンサス法、定点観察法、任意踏査を実施。

##### (3) 【重点調査】夜間調査：（哺乳類・鳥類）

調査回数：年4回（春・初夏・秋・冬）

調査日数：各0.5日×2晩（調査員1名）

調査方法：調査ルート周辺で任意踏査による夜間調査を実施

##### (4) 【重点調査】両生類・爬虫類調査

調査回数：年4回（春・初夏・秋）

調査日数：各2.5日（調査員1名）

調査方法：調査ルート周辺での目撃法、捕獲法を実施。

(5) 【概略調査】植物調査

調査回数：年4回（春・初夏・秋・冬）

調査日数：各2日（調査員2名）

調査方法：調査ルート周辺でのフロラ調査を実施。

(6) 【概略調査】陸上昆虫類調査

調査回数：年3回（春・初夏・秋）

調査日数：各1日（調査員1名）

調査方法：調査ルート周辺での任意採集法、目撃法を実施。

※夜間調査及びトラップ調査は無し。

## 2) 2年度目

調査項目：【重点調査】植物調査、魚類調査、陸上昆虫類調査

【概略調査】哺乳類調査、鳥類調査、両性類・爬虫類調査

調査範囲：森の池～とんぼ池（アゲハの谷）周辺へのメインルート周辺。魚類調査はとんぼ池のほか、可能な限り下流河川（小熊野川）でも実施。

成果品：確認種リスト、調査概要コメント、確認種（生物）写真、など。

### (1) 【重点調査】植物調査

調査回数：年1回（春・初夏・秋・冬）

調査日数：4日（調査員2名以上）

調査方法：調査ルート周辺でのフロラ調査を実施。

### (2) 【重点調査】魚類調査

調査回数：年1回（春～秋の期間中）

調査日数：1日（調査員2名）

調査方法：とんぼ池で投網、サデ網、刺し網、かご罟、セルビン等による採集を実施。魚類と同時に水生昆虫類の採集も行う。

可能な限り、下流河川の小熊野川でも調査を実施する。

### (3) 【重点調査】陸上昆虫類調査

調査回数：年3回（春・初夏・秋）

調査日数：各3日（調査員1名）

調査方法：調査ルート周辺での任意採集法、目撃法、ベイトトラップ法、ライトトラップ法を実施。

ライトトラップ法はカーテン法或いはボックス法により実施。

各トラップは3地点を予定。

(4) 【概略調査】哺乳類調査

調査回数：年4回（春・初夏・秋・冬）

調査日数：各0.5日（調査員1名）

調査方法：調査ルート周辺でのフィールドサイン法、目撃法を実施。

※トラップ法、無人撮影法は行わない。

(5) 【概略調査】両性類・爬虫類調査

調査回数：年4回（春・初夏・秋）

調査日数：各0.5日（調査員1名）

調査方法：調査ルート周辺での目撃法、捕獲法を実施。

(6) 【概略調査】鳥類調査

調査回数：年4回（春・初夏・秋・冬）

調査日数：各0.5日（調査員1名）

調査方法：調査ルート周辺でのラインセンサス法を実施。

※ 調査員は専門の調査員とする。また調査項目によっては、ボランティアなどの補助調査員が参加する。（人数は計上しない）

哺乳類・鳥類・魚類・陸上昆虫類調査員

社団法人 まほろば自然学校 代表 岩隈志保

太宰府ワイルドライフリサーチ 代表 岩松慎一郎

両生類・爬虫類調査員

一般財団法人 日本蛇族学術研究所 非常勤講師 橋元浩一

植物調査員

YGN会員 山田ボランティアグループ（前回の調査員）